



洞爺湖畔の清掃を行う伊達信用金庫の職員の皆さん
(写真提供 室蘭民報)

5月10日、伊達信用金庫は、6月15日の「信用金庫の日」に合わせて地域貢

献活動の一環として洞爺湖畔の清掃活動を行いました。

参加したのは、虻田支店と洞爺湖温泉支店の職員と家族ら24人。同金庫では、各支店で奉仕活動などが実施されていて、昨年は、洞爺地区の彫刻清掃に汗を流しました。

今年は、「ランナーに気持ち良く走ってもらおう」と5月18日開催の洞爺湖マラソンに合わせて行われ、珍小島とグリーンステイ洞爺湖の間を2班に分かれ、ゴミや吸い殻などを拾い集めました。

洞爺湖畔清掃の奉仕活動 伊達信用金庫職員ら実施

洞爺湖町縄文の日 縄文体験を楽しむ

縄文人の暮らしを体験する「洞爺湖町縄文の日」が、5月11日、入江高砂貝塚館で開かれ、約30人が参加して、縄文ペイント、土器づくりなどで縄文文化にふれました。

入江貝塚が、昭和53年5月13日に国の史跡として指定を受けたことを記念して9年ほど前から行っているイベントです。

この日は、土偶・土器作り、縄文ペイント、勾玉づくり、縄文弓矢の4つのテーマを決定。参加者らは、それぞれの



貝の裏側にペイントする児童たち

コーナーでの体験を通し、縄文文化への理解を深めました。

「おおきくなってね」 洞爺湖のヒメマス放流

洞爺湖漁業協同組合（篠原 功組合長）が実施しているヒメマスの放流が、5月15日とうや小学校と洞爺湖温泉小学校の児童をそれぞれに招き行われました。

湖の豊かな自然にふれてもらおうと毎年実施していて、今年は、各小学校で、4～5センチ程に育った稚魚合わせて4万匹を放流しました。

洞爺湖温泉小学校では、1、2年生16人が参加し、同小近くの湖畔で実施されました。児童らは、プラスチック



ヒメマスの成長を楽しみ放流する温泉小の児童たち

ながら放流。3、4年後の成長を楽しみにしていました。



ムカデ競走で盛り上がる参加者

いろいろな遊びをたのしもうと「あそびフェスタINとうや湖」

（とうや湖レクリエーションクラブ主催）が、5月24日母と子の館体育館で開かれました。

始めに英国からボランティア活動で訪れているジョウスイーさんと同クラブのメンバーによる、絵本「そののいのたね」の日本語と英語での読み聞かせが行われました。

引続き、腕相撲、ムカデ競走、ツイスターゲームなど盛りだくさんの遊びメニューを楽しみ、体育館に児童らの歓声が響きわたっていました。

身体を使ったゲームに歓声響く あそびフェスタ



まちのわだい